

令和6年度 国民健康保険

保健事業実施計画書

有 田 市

1. 事業目的

健康日本21（第2次）の推進において、健康寿命の延伸・生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底が明記されているため、効率的かつ効果的な事業の実施を目的として、医科と調剤のレセプトをデータ化し、特定健診データと突合したデータベースシステムを活用しながら保健事業を展開する。

また、本市の詳細な医療費や傷病状況を把握した上で令和5年度に策定した第3期データヘルス計画に基づき、特定健診未受診者対策及び特定保健指導事業を実施することにより、医療費の適正化と健康増進を実現する。

2. 事業内容

特定健診未受診者に対し、アプローチ（個別勧奨通知・電話勧奨・街頭啓発等）の充実を図り、生活習慣病の予防に繋げられる教室等を開催する。

また、それぞれの年齢や健康状態に応じた健康づくりに関心を持てるよう工夫する。

さらに、本市では、国の目標値に比べ、特定健診受診率やがん検診受診率が低い状況であることから、国保被保険者をはじめ市民の健康増進への関心を高めるための健康増進啓発事業を実施する。

3. 実施方法

（1）特定健診未受診者対策

未受診者に対し、過去の受診歴や受診状況等のデータ分析を行い、より効果的な個別勧奨としてソーシャルマーケティングを活用した未受診者勧奨の実施や電話での受診勧奨を実施する。また、40歳未満の若年層に向けては、今後の健診受診の定着を図るため、人間ドックの受診勧奨を実施する。さらに、特定健診に対する受診意欲を促進するとともに特定健診受診の定着化を図るためインセンティブとして特定健診受診者に抽選で商品券を配布する。

健診未受診者で既に生活習慣病等で受療中の方に対しては、市医師会と連携強化を図り、医療機関を通じて受診勧奨や情報提供を実施し、受診率の向上を目指す。

（2）特定健診受診者のフォローアップ

特定健診結果通知の際、よりわかりやすくかつより詳しい案内の送付を行う。

また、面接において結果説明を行い、保健指導へ繋げて行くことに加え、インセンティブとして、「えみくるARIDA」の利用券5,000円分を贈呈する。

（3）糖尿病重症化予防事業

平成28年度から腎不全の医療費が高くなっており、当然のことながら1人当たりの医療費も高くなっている。

これに伴い、有田市医師会に加盟する医療機関と連携強化を図り、対象者へ糖尿病重症化予防事業への参加勧奨を行い、早期に保健指導を行うことで腎症悪化を未然に予防する。

また、健診の結果、早期に受診の必要がある方に対しての受診勧奨をより強化する。

（4）生活習慣病重症化予防事業

特定健康診査の結果データやレセプトデータにおいて、糖尿・血圧・脂質等で医療受診が必要な未受診者・受診中断者に対して、医療機関への受診を促す通知や電話、面談等の方法で受診勧奨及び保健指導を行い、生活習慣病の重症化を予防する。

（5）健康増進啓発事業の実施

健康増進啓発事業としては、特定健診の街頭啓発や健康チェックイベントを開催する。

また、有田市医師会に委託し、生活習慣病重症化予防講演会を開催するなど市民の健康への関心を高めて行く。

(6) 重複服薬適正化介入事業

市医師会及び有田薬剤師会と連携し、複数医療機関より同一薬効の処方を受けている者に対して、不必要な重複服薬の改善やお薬手帳の利用促進に効果的な通知書を送付し、電話や面談等の方法で受診勧奨や保健指導を行い、服薬の適正化を図る。